

死亡事故の発生状況

「死亡(死者)」とは、交通事故によって発生から24時間以内に亡くなった場合(人)をいう。ただし、「30日死者の事故」の項では、「死者」を「24時間死者」という。

84件
86人

死亡事故の特徴

統計が残っている昭和23年以降、最少

平成28年中の死者数は、前年に比べ9人(-9.5%)減少した。

高齢者の構成率が増加

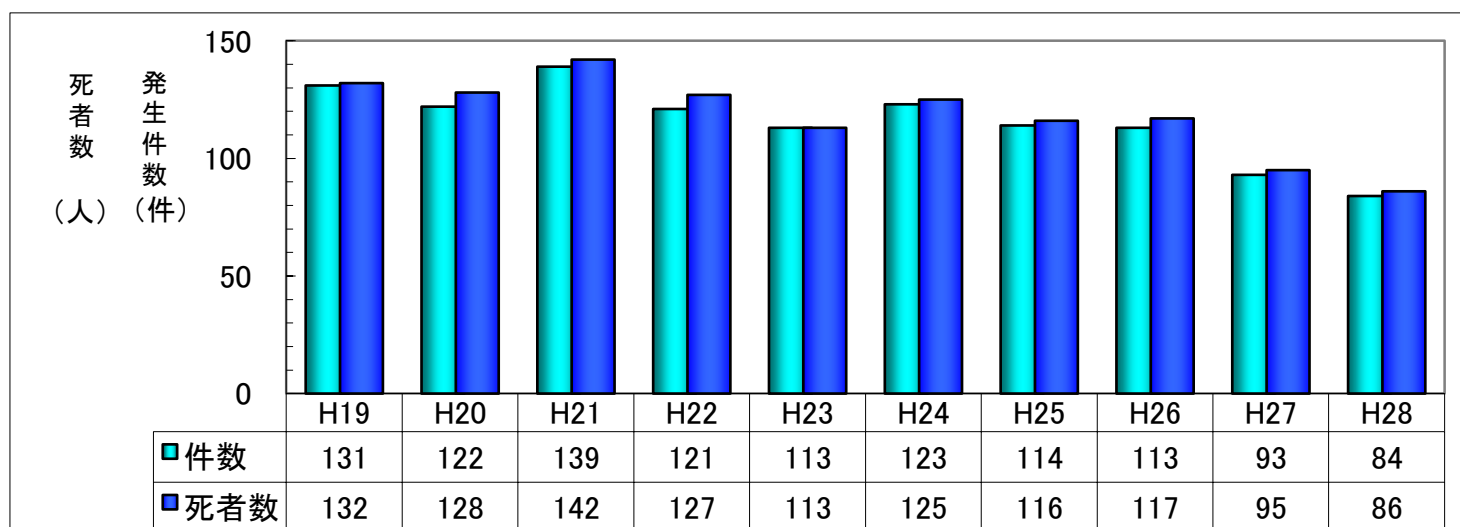
年代別死者数では、高齢者が47人で最も多く全体に占める割合が54.7%で、半数を超えた。

飲酒運転による死者数が増加

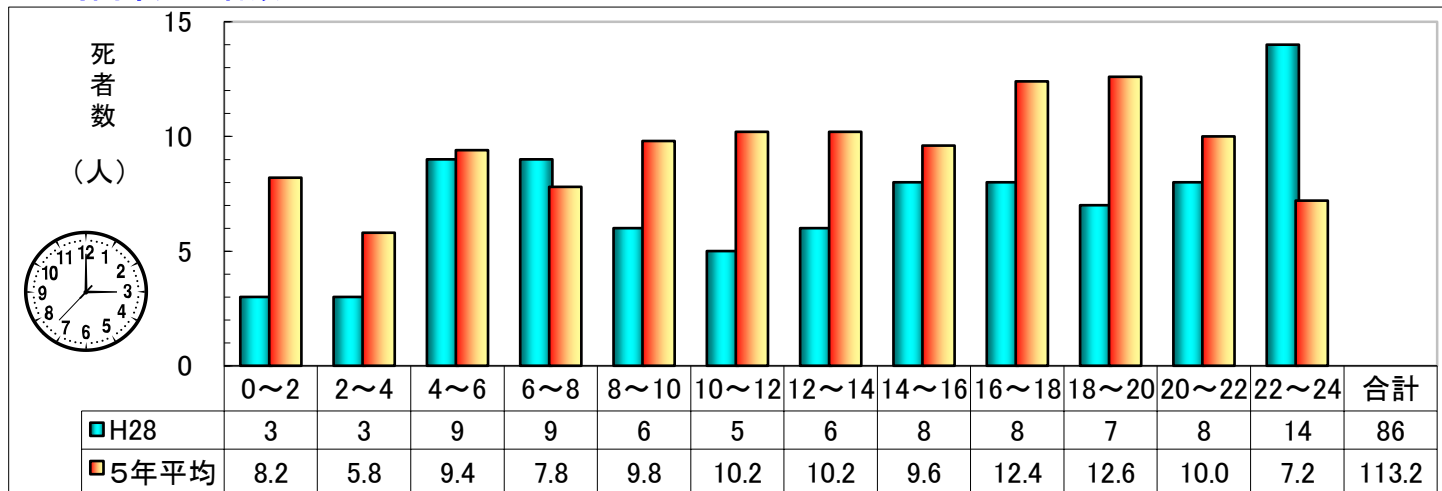
飲酒運転による死者数は、9人で前年に比べ2人(+28.6%)増加した。



● 過去10年間の推移



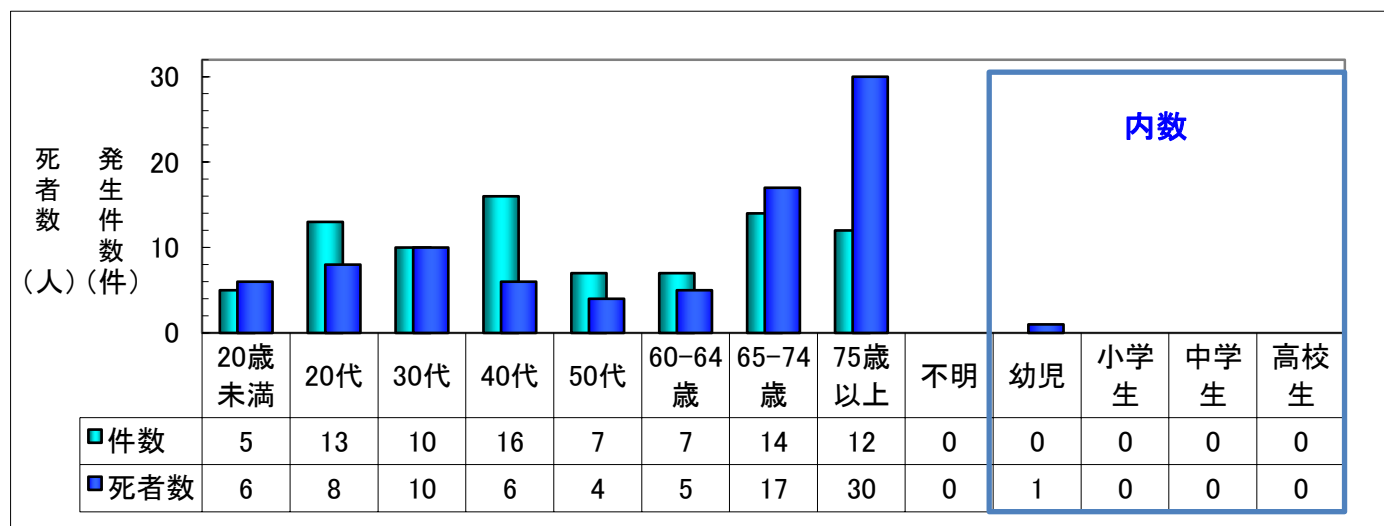
● 時間帯別死者数



● 道路形状・事故類型別死者数

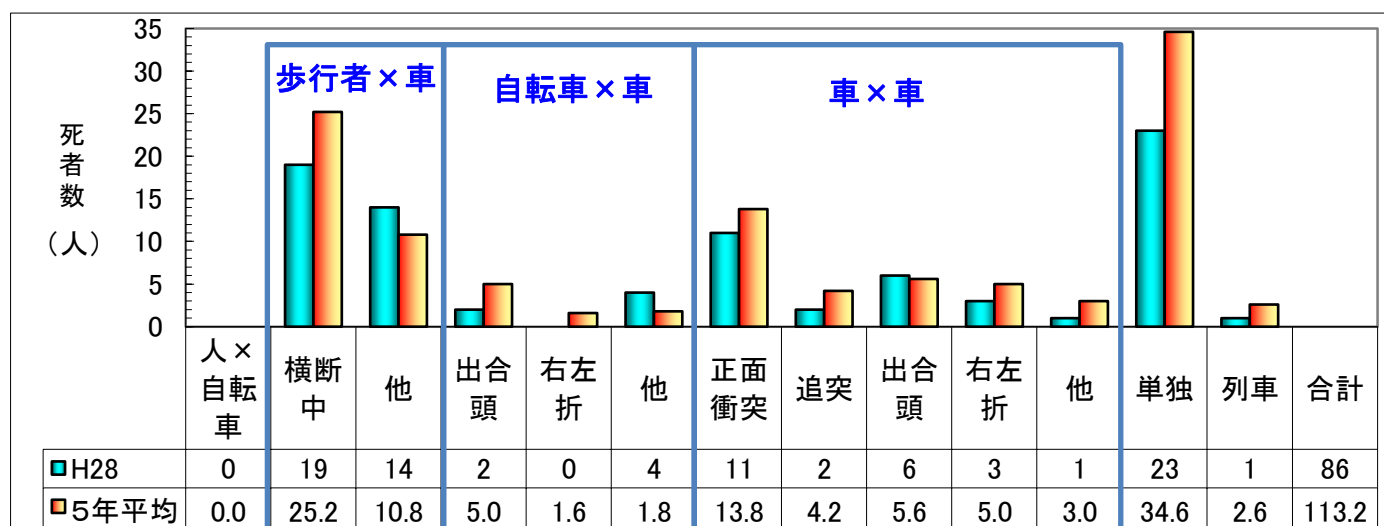
道路形状 事故類型	交差点			単路	踏切	その他	合計
	信号有	信号無	計				
歩行者×車	6	9	15	17	0	1	33
自転車×車	2	1	3	3	0	0	6
車×車	5	5	10	13	0	0	23
車単独	2	4	6	16	0	1	23
列車	0	0	0	0	1	0	1
合計	15	19	34	49	1	2	86

● 年齢層別発生状況

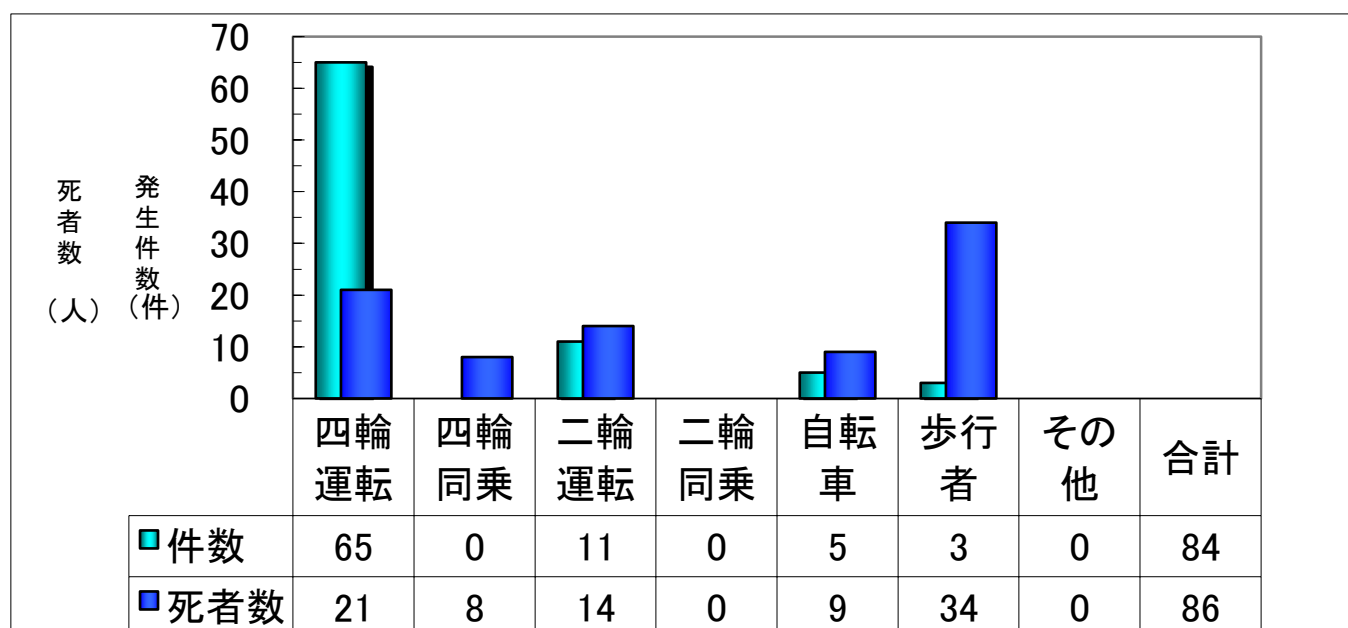


※ 件数は、事故の第1当事者の年齢層で、死者数は死亡した本人の年齢層である。

● 事故類型別死者数



● 状態別発生状況



※ 件数は、事故の第1当事者の状態別で、死者数は死亡した本人の状態である。